

甲子園練習 女子マネ、グラウンドに入り注意 笑顔で「ダメでした」

スポニチアネックス 8月2日(火)14時47分配信



シートノックでボール渡し役を務めた大分の首藤桃奈マネジャー (左)

◇第98回全国高校野球選手権大会甲子園練習 (甲子園)

第98回全国高校野球選手権大会 (7日から15日間) の出場校による甲子園練習が2日行われた。

大分の女子マネジャー、首藤桃奈さん (3年) がユニホーム姿で練習に花を添えた。ところが、ノッカーにボールを運ぶなど練習を手伝ったところ、大会関係者から注意を受けてしまった。

大会規定の参加資格には「その学校に在籍する男子生徒」となっており、練習もそれに準ずる形で行われている。学校側の勘違いでおこった事態だったが、大会関係者に指摘された後、首藤さんは「ダメでした」と笑顔で事態を受け入れ、グラウンドからベンチに下がった。

首藤さんは、2歳半から始めたというクラシックバレエが、もともとの専門。中高一貫教育の同校でも、中学までバレエをやっていたが、卒業式の答辞で「私がマネジャーでチームを甲子園に連れて行きます」と宣言。2つ上の兄、有恒さんが野球をやっていたこともあって、高校から野球部のマネジャーになった。

バレエも将来続けるつもりで、高校入学後も時間を見つけて稽古している。それでも「(大会が) 終わるまでは野球に専念します。みんな息子のように感じます」と、きっぱり。ナインを包み込む母性で、勝利をアシストする。